

平成19年度 事務事業評価表		担当	総務部 安全安心課			内線等	1901
事務事業名	防災設備資機材充実事業				事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等	蒲郡市地域防災計画				Dその他		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	防災
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対し
手 段	防災設備や資機材を整備充実することによって
想定する成果	地域防災の充実を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
仮説トイレ	53基	18基	16基
避難所用毛布	1,400枚	1,200枚	1,000枚
非常食	4,680食	5,394食	5,394食
避難所テント	14張	13張	10張

成果指標

成果指標名	備蓄物資等の備蓄量（累計）	備蓄物資等の備蓄量（累計）
成果指標の説明	仮説トイレ、毛布の備蓄数	非常食（乾パン・アルファ米）の備蓄数（累計は、期限切れ配布後の数）

事業の進捗状況（一般 会計）（単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		447基、 7,740枚				472基、 8,900枚				488基、 9,900枚			
成果指標		20,328食				22,172食				23,180食			
事業費	事業費	16,240				24,563				15,888			
	人件費	3,892				2,343				2,354			
	(人数)	正規	0.5	非常勤		正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	20,132				26,906				18,242			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	20,132				26,906				18,242			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	1	2	2	非常食は、消費期限が5年であるため毎年1/5は、更新する必要がある。
経済効率性	2	1	2	2	
事務効率性	2	2	2	2	
必要性	3	3	3	3	
小計	9	7	9	9	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	12	7	12	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	備蓄目標は、トイレ490基、毛布12,250枚、非常食26,970食であり、平成19年度末の達成率は、平均79.8%である。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
仮説トイレについては、下水道汚水マンホール利用型も取り入れていく。非常食については、高齢者向けのもの、保存期限のより長いものなどを検討していく
上記改善点の実施状況
下水道汚水マンホール利用型トイレは、計画数量を満たし今後は障害者多目的利用型トイレを備蓄。また、高齢者向けの非常食については、アルファ米の一部におかゆ用のものを備蓄している。

今後さらに改善すべき点

仮説トイレは、市内35箇所の避難所のうち小中学校を主体として被災者数に応じた備蓄数量を確保しつつあるが、ライフラインが途絶えた場合は、すべての避難所で不便を起こす可能性もあり、食料備蓄以上に仮説トイレの利用の仕方や数量を含め検討の余地がある。

平成21年度予算に反映する項目

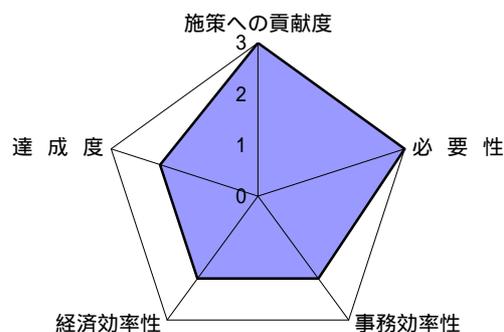
備蓄目標に向け逐次予算要求していく

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点